

別記様式(第4条関係)

会議録

会 議 名 称	令和5年度第3次加東市地域福祉計画推進会議
開 催 日 時	令和5年7月25日(火) 13時30分から15時25分まで
開 催 場 所	社福祉センター2階レクリエーション室
出 席 委 員 (名簿順表記)	藤原慶二、中村勇、小林宮子、竹内司、阿江俊英、藤原孝章、依藤眞弓、戸田潔子、草壁美代子、遠山純子、松本三津子、前田友子、井上正義、日下伸一、神弘文、石田三有希、藤井ひとみ、石原敬三、松本匡美  (計19名)  アドバイザー兵庫県社会福祉協議会 福本良忠
欠 席 委 員	なし
事 務 局	健康課 参事 細川公代 社会福祉課 課長 北島崇裕 副課長 篠田玲子 係長 石田浩一 高齢介護課 副課長 高濱さおり 福祉総務課 課長 平野好美 主査 橋本実穂 主事 細川ちひろ 社会福祉協議会 局長 楯本俊也 次長 松本多美子 課長 西山昌希 主任 角田久美子 課員 岡田知佳 今榮直子
会 議 次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 会長・副会長の選任 4. 各計画の進捗管理・評価について ○令和4年度第3次加東市地域福祉計画 ○令和4年度第3次加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画 5. 意見交換会(グループ別) 6. まとめ 7. その他 8. 閉会
会 議 資 料	・推進会議次第 ・委員名簿 ・加東市地域福祉計画推進会議設置要綱 ・加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画推進会議設置要綱(※1) ・令和4年度加東市地域福祉計画 推進・評価シート ・令和4年度加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画 推進・評価シート(※2) ・別紙2 令和5年度推進会議 委員評価コメント (※1、2)は加東市社会福祉協議会資料

発言者	会議の経過/発言内容
	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ (事務局より委員紹介) (事務局より事務局紹介)</p> <p>3. 会長・副会長の選任 事務局案に対し全員承認により、会長は藤原慶二委員、副会長は阿江俊英委員に決定する。</p> <p>4. 各計画の進捗管理・評価について ○事務局より「令和4年度加東市地域福祉計画 推進・評価シート」を用いて説明 ○事務局より「令和4年度加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画 推進・評価シート」を用いて説明</p>
委員	<p>(質疑応答)</p> <p>市の推進・評価シートの13ページで「福祉ボランティア」という言葉が出てきますが、私の思っている「ボランティア」という定義は基本的に福祉のことだと思っているので、あえて「福祉ボランティア」としているのは、何か違いや意味があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>ボランティア活動は児童の見守りやクリーン活動等いろいろな活動があるため、地域福祉計画では、ボランティア活動の中でも福祉に特化した指標として「福祉ボランティア」と標記させていただいています。次の策定の際には福祉に限らず、「ボランティア活動」と標記することも踏まえ、検討していきます。</p>
委員	<p>社会福祉協議会（以下「社協」という。）の推進・評価シートの8ページで、福祉有償運送事業を開始したほかにも、新たな外出支援の協議として滝野地域連絡会で移動支援の協議を定期的に行ったとありましたが、それはどういう連絡会で具体的にどのような話をされているのかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>滝野地域連絡会は生活支援体制整備事業の関連で、滝野地域の各組織の代表に出席いただいている連絡会です。以前は移動販売の協議を行っていましたが、現在は外出支援について協議され、移動支援について地域住民の意見を市へ申し入れされている状況です。</p>
委員	<p>あちこちで乗り合いタクシーが走っていますが、滝野地域ではそのような取組が無かったので、どのような方法があると良いのか、数年前から滝野地域連絡会で話し合いをしてきました。西脇市の「むすブン」を参考に市へ意見をまとめたものを提出しており、話し合いを継続しています。</p>

会長	結論が出ているというわけではなく議論の途中ということで、生活支援体制整備事業の協議体と市とで協議を続けておられるということですね。
委員	「ボランティア」は無償や有償というように今はいろいろな形が出てきているので、加東市として「ボランティア」としてどう捉えるのかをまとめたものがあると迷わなくて良いと思います。
事務局	頂いた意見を参考に検討していきます。
委員	市の推進・評価シートの12ページで、安全な運行を継続するために年1回以上の安全運転講習を行うとあるのですが、年1回で例えば春に講習を実施すると、翌年にならないと講習を受けられず、新たに運転手になれないという問題も出てくるのではないのでしょうか。年1回以上の講習を実施していただくことで、運転手の担い手を増やしていただきたいと思います。
事務局	高齢介護課でも「ふまねっと教室」への移送支援を行っており、年1回の安全運転講習を行っています。予算のこともありますので、頂いた意見を参考に検討していきます。
会長	年2回講習を実施すれば運転手が増えるのかという点ではありますが、実際に実施してみて、どれだけ運転手が増えるのかということを検証してみても良いと思います。
委員	社協の推進・評価シートですが、5年間の指標と目標の項目があるところと無いところがあります。委員として二次評価をするにあたり、指標がないと判断しにくいと思いましたが、なぜ指標がないのかと疑問に思いました。
事務局	社協の活動項目は活動のプロセスを重視しているため、なかなか件数や指標に表せないところがあるのですが、もう少し数値化できないか、頂いた意見を参考に見直していきたいと思います。
会長	数値を出すメリット、デメリットは必ず出てきます。数値を挙げても中身が伴わないこともありますし、質より量を求めかねないので、この部分については慎重に検討していただきたいと思います。
委員	市と社協の推進・評価シートをみると、ホームページの閲覧件数が目標を大幅に超えていて、頑張っておられると感じたのですが、目標をクリアされているのであれば、次回以降の目標を変更されても良いのではないかと思います。

事務局	頂いた意見を参考に検討していきます。
委員	移送支援は地域の課題として考えてきた結果、コミュニティバスや乗り合いタクシーが開始されていますが、個々にはバス停まで行けない、自宅から出られないという方も居られます。また、運転手の確保もこの先を考えると難しい問題だと感じています。そのため、予算化が難しいかもしれませんが、自分で移動できる電動車いすをレンタルや購入がしやすくなるような加東市独自の施策に取り組んでいただくと、閉じこもりがちになる高齢者の救済になったり、住みやすい街になるのではないかと思います。
事務局	頂いた意見を参考に検討していきます。
会長	それでは二次評価を実施していきます。 一次評価をみていただき、意見がもしあれば、おっしゃってください。 事業ごとの評価を積み重ねて一次評価としているので、大幅に異なることはないと思いますが、叱咤激励の意味を込めての評価でも構いません。
委員	市の推進・評価シートの5ページで防災の一次評価が「B」になっています。防災の部分は実際に何か起きたからではなく、何か起きる前にいち早く作らないといけないものだと考えていますので、私はC評価「予定より遅れている」にしております。
委員	市のまちかど体操事業がB評価になっています。私としては、とてもよく頑張っておられると感じているので、A評価にしていたのですが、なぜB評価としているのか教えていただけますか。
事務局	まちかど体操も事業を開始して10年が経過し、当初はグループがどんどん増えていきましたが、ここ数年は新規のグループがなかなか増えず、新規の立ち上げもありましたが、休止される場所も2カ所出てきているということで継続支援を実施していく必要があるということでB評価にしています。
委員	結局、コロナの関係で減ってきたことから「B」にされているということですね。私からみますと活動的に実施されていると思いますので、継続していただきたいと思います。お願いいたします。
会長	これは活動されている人への評価ではなく、あくまでも市の事業への評価ということで「B」になっているのかと思います。また、継続支援は大切ですが、継続することが住民にとって負担になるということが起こることがありますので、そ

	<p>うならないような継続支援をお願いしていきたいと思います。</p> <p>役割を終えたものを一旦終えるということはずごく大切な支援ですし、必要などころに必要な資源が作られるということも大切です。</p>
委員	<p>市の推進・評価シートの9ページで、一つひとつの項目をみると一次評価も納得できますが、5年間の指標と目標をみると、目標値と実績値の開きが大きく違和感がありましたし、これだけ開きがあるにも関わらず一次評価は「A」なのかと思いました。</p>
事務局	<p>指標は生活支援サポーター協力会員活動回数の延べ回数となっておりまして、当初は活動回数が上向きであったことから目標値を設定しましたが、平成30年度以降は頻回に利用されていた方が介護保険の利用に移られたりして目標回数と開きが出ている状況です。しかし、コロナ禍の活動制限による影響で令和2年度、令和3年度には大幅に減少していた活動回数が令和4年度は回復傾向にあり、生活支援サポーター養成講座を開催し、活動会員の登録にも繋げられたことから、A評価としています。</p>
会長	<p>委員の皆さんも各事業の評価には納得しておられますが、目標値に対する現状値との差があまりにも大きいことが気になるのだと思います。事業項目の生活支援サポーター活動支援事業がB評価であることはまっとうな評価なのかもしれませんが、この書き方になると、評価指標が気になるところです。</p> <p>ここで、二次評価の確定を行う必要があります。</p> <p>皆さんから出た意見のうち、市の推進・評価シート5ページの「日頃から災害に備えた安全・安心な地域づくり」について、推進委員としての評価は「C」ということで良かったですか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>「C」が悪いのではなく、災害に備えて早急にすべきという率直な市民の意見として叱咤激励の意味を込めての評価とします。</p> <p>続いて、推進・評価シート9ページの5年間の指標と目標である生活支援サポーター協力会員活動回数の目標値と実績値に乖離があるということで評価は「A」で良いのかということでした。</p> <p>相対評価としては「A」が良いと思いますが、加東市に限らずこのような評価指標が見づらいという現状がありますので、評価がわかりやすいように適切などころに適切な数値を置いて見やすくしていただくという推進委員からの意見を申し添えて評価は「A」のままにしておくことでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、このように推進委員からの評価は確定させていただきます。</p>

委員	<p>5. 意見交換会（グループ別）</p> <p>グループで出た意見を代表者が発表</p> <p>◇1 グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両親が共に働く世帯が増え、かつ、核家族化している現状があり、子育てについても昔と異なる難しさがある。</li> <li>・推進・評価について、市と社協で評価が分かれており、わかりにくい。指標と目標をしっかりと立てて実績として数値を残していただきたい。</li> </ul> <p>今の状況では第三者からみると評価が曖昧で自己満足でしかない。</p> <p>厳しい意見ではあるが、自己評価するのではなく第三者に評価してもらうためには指標と目標は大切であると思う。</p>
委員	<p>◇2 グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉有償運送事業が開始されたことやコミュニティバスの運転手の心の負担感から、市にプロの運転手を委託してもらいたい。</li> <li>・社協の車両貸し出しという事業は良い事業であるが知らない人も多かったため、啓発を常に実施していただきたい。</li> </ul>
委員	<p>◇3 グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社高校の活動が神戸新聞に取り上げられていたが、街を活性化させる力をもっており、若い方の意見を柔軟に取り入れていくことも大切。</li> <li>・医療分野においても、早期の包括的な支援は必要であり、行政のサービスは有効。</li> <li>・ボランティア団体の高齢化という課題がある。</li> <li>・ひとり親家庭や生活困窮世帯への就職のためのきっかけとしてパソコンの講座などを一つの動機づけとして実施できたら良いと思う。</li> </ul>
委員	<p>◇4 グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停まで行けない人、家から出るのも大変な人がいるが、支援者が不足しているため、その辺りをうまく解決できると良い。</li> <li>・支援が必要な方が安心して福祉有償運送等を利用できるよう、運転手の確保をしてほしい。</li> <li>・市民の方がみる資料がわかりやすくなると、伝わりやすく理解しやすくなる。</li> <li>・病児保育の予約等、利用しづらく値段も高い。LINE等で簡単に予約できると良い。</li> <li>・ファミサポも増えると良い。</li> <li>・少子高齢化でサポートする人員も減ってくるため、そこを見据えた体制を取っていく必要がある。</li> </ul>

<p>アドバイザー</p>	<p>6. まとめ</p> <p>兵庫県社協は市町の社協と一緒に計画づくりを推進しており、県内の市町の計画の状況を知っているため、参加させていただきました。</p> <p>15年程前から移送や移送の権利の問題というのはありましたが、関係機関と協議を重ねる中で国の制度も整い、福祉有償運送事業を活用されているところかと思えます。</p> <p>委員のご意見でもありましたが、県内の別の地域で移送の協議を重ねた結果、セニアカー（電動車いす）の試乗会を実施したところ、大変盛り上がったと聞いています。その状況をみていた社協職員からは「移動に困っているのではなく、自分たちで運転したかったんだ。」という気付きを得られたと聞いています。</p> <p>また、若い方の意見を取り入れることは本当に大事です。県内の別の社協では、中学生にヒアリングを行う取組をされているところもあります。次の計画にはそのようなことも含めて検討していただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>この3年間、コロナ禍が大きな影響を与えてきたことが顕著に数値に表れたというのが率直な感想です。非常に良くないことではありますが、地域活動がなくても十分生活できるという認識を持たれている住民が一定数居られるということも事実です。そのように感じている方々に今年度以降、「やっぱり地域活動は大切」と共感し、参加してもらえるように働きかけていくことがとても大切になってくると思います。</p> <p>どこの市町も社協も同じですが、前年度踏襲の惰性で実施する活動があるならば、その活動は発展せず、人口減少も加わり先細りとなっていくことが容易に予測できます。</p> <p>皆さんが日頃から地域活動される中で大変なこともあると思いますが、それでも地域活動がもたらす面白さや大切さを感じている皆さんだからこそ、そのことを言語化して広めていってほしいと思います。</p> <p>活動を維持することが目的ではなく、活動が達成されたときには次の目標を設けるのか、活動を終息させるのか選択できるような幅を持たせることが必要であり、課題だと思います。</p> <p>委員の皆さんを中心として、人を呼び込み盛り上げていくことができると思いますし、地道な活動を丁寧に取り組んでいくことで、より地域を活性化させることができると思います。</p> <p>7. その他</p> <p>8. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

令和5年 9 月 20 日

会 長 藤原 慶二

署名人 石田 三有希

署名人 遠山 純子